

# 水土里レポート

投稿月日

令和5年7月12日（水曜日）

タイトル

當麻神社鎮座128年 例大祭 子ども神輿巡行

水土里レポーター名

小野寺 孝 — 北海道ふるさと・水と土指導員（北海道当麻町）

当麻町に所在する當麻神社は明治29年に鎮座され今年で128年を迎えられました。

新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりに子ども神輿の巡行が行われ、将来を担う町内の子どもたち157名（児童108名、幼児49名）が太鼓を叩き、神輿を運び、拍子木を打ち、吹き流しを持ち、賽銭箱を持ち沿道の観衆より賽銭を頂き、気温30℃の炎天下、途中500m地点のお休処で一息入れて、ゴールまでの1,300m無事に巡行を終えました。

街なかに子どもたちの元気な響き渡る声が聞けて将来に安堵しました。

神輿巡行は五穀豊穰・農林商工業発展・町内平安を祈念し未来につなげる心で！



子ども神輿出発



太鼓の達人（小6女子）



太鼓の達人（小5男子）



神輿を乗せたリヤカーを引く



低学年、幼児は綱を握って…



お休処にて冷たい飲み物で…



休憩終わり さぁ出発です



ゴールまで残り350m



ゴールです!! お疲れさまでした

J R当麻駅前を9時30分出発し、休処（当麻小学校）20分間、校長先生と教頭先生も激励してくれて、コロナウイルス感染症前の令和元年は181名参加でしたが、27名の減少でも、参加者全員の努力で到着地の当麻町公民館「まとまーる」には予定より20分早い10時30分に到着することが出来ました。実行委員43名、警察官3名、交通安全指導員3名の方々に敬意と感謝を申し上げます。

令和6年は7月10日（水）に行われます。